

ご使用の前に



- ・ご使用の前には本使用説明書や警告、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。またその内容をご理解の上正しくご使用ください。
- ・お読みになったあとも保管し、必要に応じてご活用ください。

Canon

X Mark II



E-IJ-1381

使用説明書

電源

本機は太陽電池のみを電源としています。太陽電池は50ルクス程度で発電しますが、明るさが足りない場所では発電効果が悪くなります。十分に明るい場所でご使用ください。

- ※ ルクスとは光が照らす明るさの単位です。50ルクスは、10m先の人の顔、行動を明確に識別でき、誰であるかを明確に分かる程度の明るさです。
- ※ 太陽電池の一部が何かに覆われていたり汚れていると発電効果が悪くなります。
- ※ 太陽電池の発電効果が悪い場合、本機は動作しないことがあります。また、メモリ機能が使用できないことがあります。
- ◆ 本機は約7分間操作を行わないと自動的に電源が切れ、表示が消えます（オートパワーオフ機能）。この場合は、**ON/CA** を押すと再び電源が入ります。
- ◆ エラーサイン(E)が点灯している時は **ON/CA** を押して解除してください。

仕様

型式	: キヤノン X Mark II
表示桁数	: 液晶表示数字 12桁
演算桁数	: 置数、被演算数、演算数: 12桁 結果: 上位桁優先 12桁
使用温度範囲	: 0°C ~ 40°C
外形寸法	: 160mm (奥行) x 95mm (幅) x 10.8mm (高さ)
重量	: 138g
電源	: 太陽電池

※改良のため予告なく仕様の変更をおこなうことがあります。

本機を廃棄する際は、地方自治体の条例に従って処理をするようお願い致します。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

⚠ 安全にお使いいただくために

- ※直接日光の当たるところや、急激な温度変化のあるところ、湿気、ごみ、ほこりの多いところでのご使用はお避けください。
- ※計算機をふくときは乾いた柔らかい布をお使いください。絶対にシンナーやベンジン、ぬれ雑巾等はお使いにならないでください。
- ※液晶表示部はガラスでできていますので、強く押さないでください。割れることがあります。
- ※強いショックを与えたり、本機の上に本などの重いものを置かないでください。大きな力が加わると壊れることがあります。
- ※低温の場所で使用すると、液晶表示の応答が幾分遅くなるがありますが、これは液晶の性質によるもので故障ではありません。
- ※乾燥した天候や使用時の摩擦等により、静電気の影響で液晶画面に黒線や残像などが残ることがありますが、使用に影響はありません。また、それらの表示は時間経過により消えます。
- ※本体を分解しないでください。万一、異常が感じられたら、販売店またはパーソナル機器修理受付センターにご相談ください。

製品取扱い方法ご相談窓口

キヤノンお客様相談センター

(全国共通番号) 050-555-90025

[受付時間] 平日・土・日・祝日 9:00~18:00
(1月1日~1月3日は休ませていただきます)

修理お問い合わせ専用窓口

パーソナル機器修理受付センター

(全国共通番号) 050-555-99088

[受付時間] 平日・土・日・祝日 9:00~18:00
(1月1日~1月3日は休ませていただきます)

2017年7月1日現在

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 お問い合わせ先 050-555-90025

© CANON ELECTRONIC BUSINESS MACHINES (H.K.) CO., LTD. 2017
PRINTED IN CHINA

※上記番号をご利用頂けない場合は、043-211-9632 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。
※上記記載内容は、都合により予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

キーの説明

- ON/CA** 電源オン/クリアオールキー:電源を入れるときに使用します。計算中にこのキーを押すと、メモリも含めたすべての計算をクリアします。
- CI/C** 入力訂正/クリアキー:入力した数値を訂正するときに使用します。誤った数値を入力した直後にこのキーを押すと、表示がクリアされ、正しい数値を入力し直すことができます。2回続けて押すと、計算途中の内容をすべてクリアします。(メモリ計算の内容はクリアされません。)
- シフトキー:表示された数値の最下位の桁をクリアするときに使用します。入力中は「→」のあとに続けて入力できるので、誤って入力したときに、一桁ずつ訂正することができます。
- %±** パーセントプラス/マイナスキー:割増計算、割引計算、パーセント計算をするときに使用します。

- GT** グランドトータルキー:今までの計算結果の累積(グランドトータル)を表示します。1回押したときはグランドトータルメモリの内容を呼び出します。2回続けて押したときはグランドトータルメモリの内容をクリアします。
- ↔** サインチェンジキー:表示数値の符号を反転させるときに使用します。
- M±** メモリプラス/イコールキー:数値または演算結果をメモリに加算するときに使用します。
- M=** メモリマイナス/イコールキー:数値または演算結果をメモリから減算するときに使用します。
- RM/CM** リコールメモリ/クリアメモリキー:1回押すとメモリ内の数値を呼び出します。2回続けて押すと、メモリ内の数値をクリアします。

計算しましょう

◆ 計算を始める前には、**ON/CA** を必ず押してください。

計算例	操作	表示 (23456789012)
混合計算 140-25+22=137 (2+4)÷3×8.1=16.2 -5+10=5	ON/CA 140 - 25 + 22 = 2 + 4 ÷ 3 × 8 . 1 = 5 + 10 =	(0.) (137.) (16.2) (5.)
入力訂正の例 2×-2-3=6 152×+99=251 123455→123456	2 × 2 - 3 = 152 × + 99 = 123455 → 6	(6.) (251.) (123'456.)
定数計算 2+3=5 4+3=7 1-2=-1 2-2=0 2×3=6 2×4=8 6÷3=2 9÷3=3	2 + 3 = 4 = 1 - 2 = 2 = 2 × 3 = 4 = 6 ÷ 3 = 9 ÷ 3 =	(5.) (7.) (-1.) (0.) (6.) (8.) (2.) (3.)
べき乗計算 3 ³ =27	3 × = =	(27.)
逆数計算 1/2=0.5	2 ÷ =	(0.5)
パーセント計算 ① 300の27%は? 300 × 27/100 = 81 ② 11.2は56の何%? 11.2 × 100 = 20 56	300 × 27 %± 11 . 2 ÷ 56 %±	(81.) (20.)
割増計算 2000+(2000×12%)=2240	2000 + 12 %±	(2'240.)
割引計算 2000-(2000×12%)=1760	2000 - 12 %±	(1'760.)
グランドトータル計算 30×40=1,200 50×60=3,000 +) 25×30= 750 小計 4,950 +) 235×35=8,225 合計 13,175	30 × 40 = 50 × 60 = 25 × 30 = GT 235 × 35 = GT (グランドトータル呼び出し) GT (グランドトータルクリア)	(^{GT} 1'200.) (^{GT} 3'000.) (^{GT} 750.) (^{GT} 4'950.) (^{GT} 8'225.) (^{GT} 13'175.) (13'175.)
開平(ルート)計算 √3=1.73205080756	3 √	(1.73205080756)

計算例	操作	表示 (23456789012)
メモリ計算 3×4 = 12 -) 6÷0.2 = 30 -18 +) 200 182	ON/CA 3 × 4 M± 6 ÷ 0.2 M± MEM 200 M± MEM (メモリ呼び出し) MEM (メモリクリア)	(0.) (M 12.) (M 30.) (M -18.) (M 200.) (M 182.) (182.)

商売計算

「原価」「売価」「粗利率」のいずれか2つの数値を入力すると、残りの1つが簡単に計算できます。

※「COST」「SELL」「MARGIN」は、それぞれ「原価」「売価」「粗利率」に該当します。

計算例	操作	表示 (23456789012)
(1) 原価 = 1,500円 売価 = 2,000円 粗利率 = ? (25%)	1500 COST 2000 SELL	(`COST` 1'500.) (MARGIN% 25.) 粗利率は25%です。↑
(2) 売価 = 1,500円 粗利率 = 30% 原価 = ? (1050円)	1500 SELL 30 MARGIN	(`SELL` 1'500.) (COST 1'050.) 原価は1,050円です。↑
(3) 原価 = 30,000円 粗利率 = 20% 売価 = ? (37,500円)	30000 COST 20 MARGIN	(`COST` 30'000.) (SELL 37'500.) 売価は37,500円です。↑

オーバーフロー

次の場合は、オーバーフローサイン(E)を表示して、以降の置数、演算を停止します。オーバーフローは **CI/C** を押し解除してください。

(1) 入力または演算結果の整数部が12桁を超えた場合
演算結果は上位12桁のみを表示し、下位桁はカットされます。そのときは演算結果に小数点が表示されます。最上位桁から小数点までの桁数を数えると、カットされた下位桁の桁数を知ることができます。

計算例	操作/表示
123,456,789,012 x 10,000 = 1,234,567,890,120,000 エラー ↑	123456789012 × 10000 = (E 1'234.56789012)

(2) メモリ内容の整数部が12桁を超えた場合(Mが点滅します。)

メモリがオーバーフローしたときは **CI/C** **MEM** を続けて押すと、オーバーフローする直前のメモリ内容を読み出すことができます。

◆オーバーフローした計算結果はメモリに累積されません。

操作	表示
333333333333 × 3 M±	(M 999'999'999'999.)
123 × 456 M±	(^M 1.00000005608)
CI/C	(M 1.00000005608)
MEM	(M 999'999'999'999.)

(3) 除数が0の除算を行った場合

操作	表示
200 ÷ 0 =	(E 0.)